



idea market

読売新聞クラウドファンディング

読売新聞の購入型クラウドファンディング 「idea market」のご紹介

読売新聞東京本社

idea market 事務局(クロスメディア部内)

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

メール: idea_market@yomiuri.com

URL: <https://ideamarket.yomiuri.co.jp/>



2021年12月版

目次

「idea market(アイデアマーケット)」とは	3
特徴	4~5
クラウドファンディング(CF)のビジネスモデル	6
CFの主な分類	7
ご活用メリット	8
プロジェクト掲載の条件	9
有料のご相談プラン	10
プロジェクトの準備・成立までの流れ	11
参考資料	12~16
お問い合わせ先	17

「idea market(アイデアマーケット)」とは？

読売新聞社が運営する

「購入型」のクラウドファンディングサイトです

イノベーション
創出

企業の新規事業や
イノベーション創出を支援

地域活性化

自治体のPR活動や
地方の優良企業を支援

文化・スポーツ・
エンタメ

文化やスポーツ、
エンターテインメントの
発展につながる事業を支援

“アイデアの実現に挑戦する人、応援する人をつなぐ市場”
という思いを込めて、



idea market と名付けました。
読売新聞クラウドファンディング

特徴 ①

日本一の販売部数を持つ 読売新聞が運営しています

読売新聞は、日本一の販売部数を持つ全国紙です。
首都圏・関西圏を中心に圧倒的なリーチ力を誇り、
国内外からも高い信頼性のあるメディアです。



読売新聞グループは 「総合メディア集団」です

読売新聞グループは、140年以上の歴史がある
読売新聞を中心に、文化、スポーツ、レジャーなど、
様々な分野の有力会社を抱える「総合メディア集団」
です。約150の多彩な会社・団体で構成されています。

特徴 ②

読売新聞オンラインなどを通じた たくさんの人に告知できます

読売新聞のポータルサイト「読売新聞オンライン」や医療・健康・介護情報サイト「ヨミドクター」、会員制メールマガジンといったデジタルメディアから、幅広い支援をサイトに誘導することが可能。
たくさんの人に告知できます。



ネットワーク連携により 他のCFサイトにも同時掲載可能

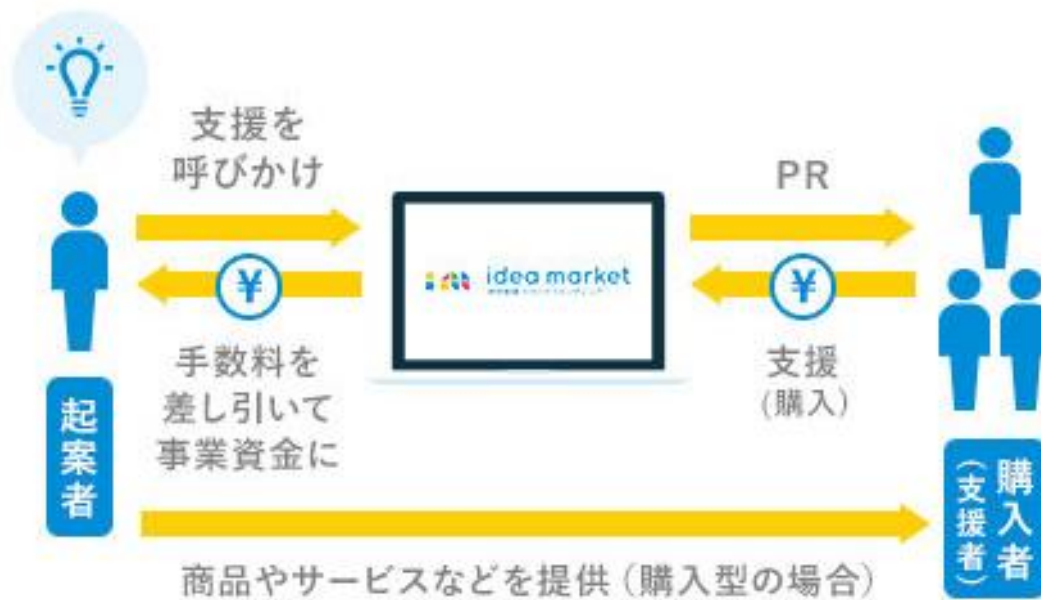
「idea market」は、他のクラウドファンディング(CF)サイトともネットワーク連携しています。審査を通過すれば、同時にプロジェクトを掲載して、資金を集めることが可能です。



(詳しくは、16ページをご参照ください) 5

クラウドファンディング(CF)のビジネスモデル

インターネット上で 新しいビジネスや活動のアイデアなどを提案し、 賛同者から出資を募る方法



- 掲載は無料
- 購入された場合のみ、成果報酬が発生
- 手数料を差し引いた金額が、プロジェクト資金として振り込まれます

※原則として、起案者は法人・団体とさせていただきます

CFの主な分類

購入型CFは、電子商取引(EC)の一種 企業のPRに最適なアプローチ

寄付型

- ・リターンなし
- ・全額寄付

購入型

- ・リターンあり
(物品やサービス
などの返礼品)
- ・事前予約購入

融資型

- ・リターンあり
(利子)

投資型

- ・リターンあり
(利益から配当)



idea market
読売新聞クラウドファンディング

は、購入型のみの取り扱いです 7

CFは資金調達以外にも、多数の利点があります

予約販売	<ul style="list-style-type: none">商品の販売前に、予約販売として受付可能購入(支援)状況を見て、販売予測に反映。在庫リスクを減らせる
テストマーケティング	<ul style="list-style-type: none">実際に市場に出すことで、顧客ニーズを把握できる複数のリターンを設定すれば、価格・色・機能を替えた検証ができる
プロモーション・PR	<ul style="list-style-type: none">購入(支援)者からのSNS等による情報拡散メディア掲載によるPR効果が期待できる
販売チャネル開拓	<ul style="list-style-type: none">百貨店バイヤー・販売代理店などからのアプローチによる販売チャネル開拓の可能性が高まる
ブランディング	<ul style="list-style-type: none">購入(支援)者数や調達金額がサイト上に可視化される透明性が高い環境での資金調達による、ブランディング効果

プロジェクト掲載の条件

タイプは2種類、手数料は20%となります

タイプ	内容	掲載料金	手数料
目標達成型 オール・オア・ナッシング	目標金額に達成した場合のみ 、資金調達やプロジェクトの着手が決定	無料	集まった金額の 20% (目標を達成した場合のみ発生)
実行確約型 ダイレクト・チャレンジ	目標金額に到達しない場合でも 、集まった金額を調達し、プロジェクトに着手		集まった金額の 20%

※別途、決済手数料(5%)等がかかります

※手数料などは、2020年8月現在

リターンの内容や原稿添削などのご相談にも応じます

【無料のご相談プラン】

リターン

支援者(購入者)に対する、リターン内容(商品やサービスなど)のご相談

数多くのクラウドファンディングサイトを運営している、株式会社Relicのサポートも受けられます

原稿添削

サイトに掲載する原稿の構成や表現についての添削

新聞社のスタッフが、起案者のニーズを正確に反映しつつ、社会やマスコミの関心を呼ぶ内容に仕上がるよう、支援します

プロジェクトのアイデア発掘・起案・PRの方法まで、一貫してアドバイス。読売新聞などに記事として取り上げられた例も多数あります

※掲載する原稿やリターン品の、実質的な制作代行を依頼される場合など、別途料金が発生する場合があります

【有料のご相談プラン】

広告掲載

読売新聞への広告掲載(有料)

掲載エリアや原稿サイズなど、ご相談に応じます

プロジェクトの準備・成立までの流れ

掲載決定から公開までは、最短で約2か月

1. ご相談

- ・お気軽に、メールでお問い合わせください
- ・起案の概要など、ご相談に応じます

【提出物】

- プロジェクト企画書
- 登記簿謄本の写し
- 会社概要
- 商品資料
- プロトタイプ(試作品等)

2. 事前準備

- ・審査の申し込みにあたり、必要書類をご準備ください
- ・専用のフォームに内容を記入し、提出していただきます

3. 企画審査

- ・読売新聞が審査を行います(広告審査協会の審査が必要な場合もあります)
- ・審査には、1~2週間程度の期間を頂戴します

4. 掲載決定

- ・契約に必要な書類を提出いただき、アカウントを発行します

【提出物】

- 利用申込書
- アカウント発行依頼書
- GMO審査書類※

5. 原稿作成、審査

- ・原稿を作成してください。その後、読売新聞が原稿の審査を行います
- ・審査には、1~2週間程度の期間を頂戴します

6. 公開

- ・ホームページにプロジェクトを公開します(期間の目安は30~90日間)
- ・必要に応じて、SNS等でプロジェクトのPRをしていただきます

※GMO審査には、
書類のご提出から
約6週間かかります

7. 成立

- ・プロジェクトが成立したら、支援者に商品やサービスなどのリターンを提供していただきます
- ・手数料等を除いた販売額を、起案者に振り込みます

【参考資料】 会社概要

読売新聞

読売新聞は、世界最大の発行部数を有し、140年以上の歴史がある全国紙です。1874年（明治7年）11月に創刊され、題号は江戸時代の「読みながら売る」かわら版に由来します。

読売新聞をはじめとする4種の新聞発行で培ったノウハウは、デジタルメディアでも活用し、新たなサービスを生み出しています。例えば、ポータルサイト「読売新聞オンライン」(<https://www.yomiuri.co.jp/>)は、読売新聞ご購入の皆様のためのデジタルサービスです。毎月の新聞購読料金のみで登録・利用できます。

グループ会社・団体には、読売巨人軍、中央公論新社、報知新聞社、読売旅行、マロニエゲート、読売不動産、読売日本交響楽団、読売理工学院、読売光と愛の事業団などがあり、多彩なビジネスや社会貢献事業を展開しています。



Relicは、新規事業開発やイノベーション創出を目指す企業向けに、最適化された独自システム・サービスの提供や、経営コンサルティング・事業投資などを展開しています。

大手企業から中小・ベンチャー企業まで、業界トップクラスの支援実績があります。

「idea market」の開設・運営においては、業界初のネットワーク型クラウドファンディング構築サービス「CROWDFUNDING NETWORK Powered by ENjiNE」を提供し、事業パートナーとして協力しています。



クラウドファンディングサイト「idea market」は、読売新聞社が主体となり、Relic社のシステムを使って、運営しています。

【参考資料】メディアデータ①（新聞読者）

読売新聞は販売部数、世帯普及率 ともにトップの全国紙です

▶ 全国版 朝刊

読売新聞

8,099,445 部

世帯普及率

13.57%

朝日新聞

5,579,398 部

9.51%

毎日新聞

2,435,647 部

4.12%

日本経済新聞

2,333,087 部

3.84%

産経新聞

1,387,011 部

2.28%

朝刊セット版 **6,670,236** 部 夕刊 **2,162,088** 部

日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期」2019年1月～6月平均

※朝刊セット版部数は、日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期」(2019年1月～6月平均)と社内資料から算出

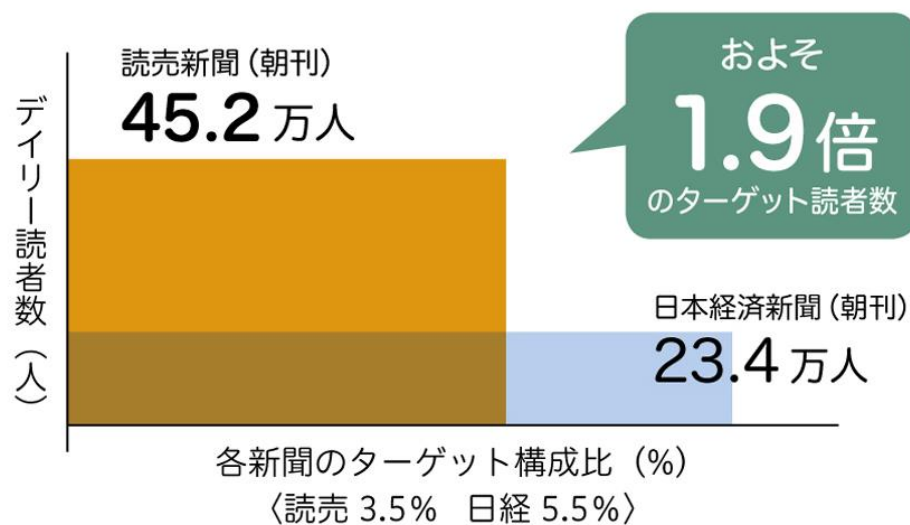
【参考資料】メディアデータ②（新聞読者）



ターゲット読者数

比較紙：日本経済新聞（朝刊）

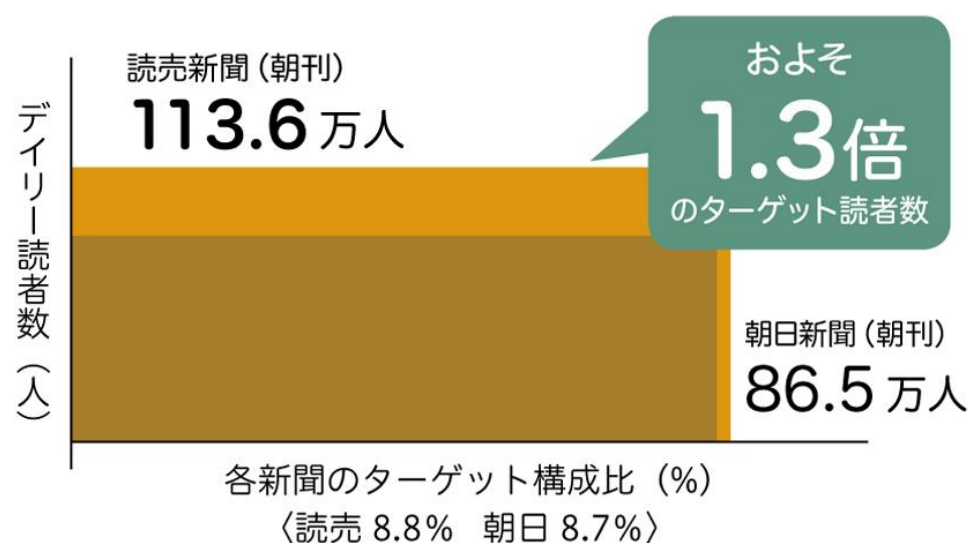
ターゲット：役員クラス（勤務先での役職別）



※ 縦軸（デイリー読者数 [= 閲読者人数]）スコア：J-READ2018「エリア内推定人口（全国）× 閲読者率（週平均）」により算出。※ 横軸（構成比）スコア：J-READ2018「各新聞の閲読者（週1日以上）の構成比（全国）」で集計。※ 15歳～74歳が対象

比較紙：朝日新聞（朝刊）

ターゲット：1部上場企業（勤務先の経営組織別）



※詳細は、読売新聞広告局ポータルサイト
(<https://adv.yomiuri.co.jp/mediadata/>) をご覧ください

【参考資料】メディアデータ③（オンライン）

読者新聞は、ニュースサイトの読売新聞オンラインから医療サイトyomiDr・女性向け掲示板の発言小町・働く女性向けサイトの大手小町・英字新聞のWEBサイトThe Japan Newsを運営しています。

総月間ページビュー

約2億2,985万ページビュー

※Google Analytics 2020年4月～6月平均

読売新聞

オンライン

約1億3,884万PV

2019年2月より、ヨミウリ・オンラインは読者限定サービスの“読売プレミアム”と統合して、「読売新聞オンライン」に生まれ変わりました。「読売新聞オンライン」は、読売新聞購読者が毎月の新聞購読料金+0円で使えるデジタルサービスです。

yomiDr.

ヨミドクター

読売新聞が運営する医療・健康・介護をテーマとした情報サイト。

約478万PV

約220万UB

発言小町

読売新聞が運営する女性向け掲示板サイト。女性系サイトでは日本最大級の規模で、ユーザーは、女性が8割以上。

約8,321万PV

約706万UB

The Japan News

by The Yomiuri Shimbun

日本ABC協会加盟紙の中で最大部数を誇る日刊英字紙『The Japan News』のデジタル版。

約71万PV

約16万UB

OTEKOMACHI

読売新聞が運営する女性向けウェブマガジンです。

約231万PV

約119万UB

【参考資料】 ネットワーク連携

「idea market」と同様に、
Relic社のシステム「ENjINE」を使っている
連携先クラウドファンディングへ同時掲載できます



idea market

「idea market」にプロジェクトを掲載




主な連携先クラウドファンディング



WATCHMakers



SAKIDORI Store



Books&Apps Store



食と酒の未来 勘所
Powered by ENjINE

※このほか2020年8月現在、日本経済新聞「未来ショッピング」、産経新聞「White Canvas」、
中日新聞「夢チューブ」、中国新聞「カナエンサイ夢」など、約25社と連携しています

プロジェクトのご相談は、随時
受け付けております。
お気軽に、お問い合わせください。



【連絡先】

読売新聞東京本社

idea market事務局(クロスメディア部内)

メール idea_market@yomiuri.com